夕刊 磐城新聞
五月四日發行
日曜祭日翌日休刊

台灣の旅 四

青木淳

食事であるが、一卓に主人や友人等あつめ、僕が主賓となつて宴會だ。さあ〜いふてすゝめられたけれど、元來支那料理に緣の遠い僕、これには弱つてしまひ、藥のむ以上の苦しさを忍んでたべなければならぬ時がある。朝からブタや鷄の油でいためたものだされると、泣き出したくなる事がある。めつたに細君や娘さん等は出て來ない。これは甚だ物足りない。これが關東方面だと、細君等が出て來るところだが、京都あたりでも細君が客の前に出て來ない處をみると、京都人もどうやら、台灣人や支那人と緣の深いものゝやうだ

さすがに、バナナとパパイヤは、こつちがおいしいパパイヤの水々しいのに食鹽をつけてたべるのなど臺灣でなければ味はう事が出來ない。さて、この埔里の街に內地人がたてただのだらう、よく鯉のぼりがたてゝある

內地なら春風に、ひるがへつてゐるといふ處だが、こちらは熱風にさらされてゐるといふ處だ。街をあるくと五月人形がならべられてゐる店がある。日本料理屋があつたので、飛び込んで行つたら、さしみがあるといふので早速久しぶりで！日本食にありついてたべたが、實においしかつた

僕はどうしたつて、內地から離れて生活出來ないらしい。一ケ月も臺灣をうろついてゐると、すつかり臺灣色になつてしまつた。顏といはず、手足までヤニ色になつた

こちらにゐる大ていの內地人は、このヤニ色してゐる氣の毒のやうに思ふ。こんな山奧に棲んでゐる內地人も氣の毒だ。活動一つ見られるでなし、たゞ生活をつゞけるだけのやうだ。しかし住めば都といふ事もあり、それぞれたのしみもあるのだらう。たしかに夫婦は仲よくくらされるのに相違あるまいと考へた

この土地の奧の方はマラリヤの盛んな土地ときく、幾分これを怖れる。明日は下山して臺北へかへる。臺北といへば、平町出身の鈴木といふ方が生蕃屋といふ土產物商を廣くやつてゐる人があるといふ事を、船の中で伴れになつた三春在出身でこちらの警察につとめてゐる方にきいたので、臺北に滯在中わざ〜その生蕃屋に訪ねて行つてみたら『私の親父が平町二丁目出身ですが、父が死んでしまひ私は平をよく知りません！』といふてゐた男の方があつた

五月題詠として 五月五日締切
『摘草』『宵』『春雜詠』
（歌數隨意）

古書漫談 (2)

田中伸一郎

斯く縱斷的であると同時に橫斷的である古本にはその時代、その場所、その所有者の變轉等に依つて面白いエピソードと歷史が生れるのである

古書蒐集を趣味的に解するならばその面白みは以上の樣な處から發生するのではあるまいか。マッチペーパー、切手の蒐集と共通な面白みもあるであらうが、古書趣味はそれ等にプラスX、である。このXは書物が全身的結晶であり、精神的慰安である本來の性質からであらう。それ故に古書趣味は高尚であり、際限がない。或る者は裝幀の變つたものを、或る者は初版本を、又、或る者は因緣本等々、その道々の學者の蒐集方面に至つては限りないのである

裝幀の變つた本には羊皮牛皮、人皮等の獸皮製とリンネル、久留米絣等の植物纖維製とがある。初版本としては主に詩歌、小說等の文藝物が喜ばれる。因緣本とは簡單に云へば著者から畏友への贈呈本の如きである。それ等は半ば骨董的價値に依つて高價なのが通例である。今その一二の例を擧げるならば、一三六〇年耳義人、僧寫せる抗典文祈禱書は四六判總皮、八十三葉の厚さ九分のものであるが數年前神田某書店で賣價壹千五百圓であつた。初版本では

森鷗外著『つきぐさ』が一冊四圓。大田、島木著『山上湖上』が一冊十圓。鳳昌子著『みだれ髮』が一冊十圓。夜雨著『夕月』が一冊五圓。啄木著『かなしき玩具』が一冊四圓五十錢

雜誌では

『ほとゝぎす』松山版が一冊十五圓

である。ついでに附記するが日本で最高價の本は古河男所藏の『元曆版萬葉集』八十二萬圓であらう。大正八年版のその『校本』ですら百二十圓の時價である

前置が餘り長くなるからこの邊で方面を換えて町で拾つた古書漫談に移らう

○――

○――

潮聲硯靜抄帳

雜詠 前田普羅選

萬兩の紅きが見ゆる雪の庭　松堂
梅寒し阿武隈山脈雪殘る
芹を喰む箱の兎の耳寒し
みちのくの雪の上なるどんどかな
寒凪や筵織りゐる岬の家
一筋の煙りが上る冬木立　武門
冷やかや靴みがゝれて玄關に
梅寒し山家は舊のお正月
ほのかなる炭の香うれし付とゐて
音たてゝ火鉢に煮ゆる風邪藥

遊成田山

珠雲 小野務平

甍梁金壁自嚴森
千章老樹曉光深
寶鴨焚香香滿院
經聲澄徹滌塵襟

民謠 炭燒き娘

島田忠夫

1
わたしや、み山の
炭燒き娘
主は、人絹工場
木運び勤め
ホンニ、ちよと逢ふ
トロリーは速し
主が小笠に
散る、松のはな

2
山の、娘は
飾るじやないし
春蘭の花より
目だたぬ女子
おもひ憧れて
トロ待ち暮らし
ホンニ、ちよと開く
唄のよさ

3
主は、木運び
人絹工場
わたしや、背負子で
炭はこび
ゆるり、話を
かはすぢやないし
愔や、野茨が
袖をひく

その日

5月5日 △奈翁薨ず（一、八二一）△國際赤十字聯盟成立（大正八）△奉祝天覽武道大會（昭和九）

5月6日 △後藤又兵衛の戰死（元和元）△伊蘇間に新通商協定成立（昭和八）△比律賓議會で獨立法受諾、憲法制定期法律案可決（同九）

○

朝露のしめりをふくんでゐる庭を掃いた箒のあとがすが〜しく殘つた

小說 誰が殺したか (9)

國枝史郎作 龍造寺膽畫

第一の殺人（九）

踊りはいよ〜ラストだつた

青山は數回前から、蝶子とのカップルを解かなかつた

客席は殆ど閑散だつた

あぶれて、喫茶部で溫かいものをのんでゐたダンサー達も、ダンサー同志で組んでフロアの上へ流れて來た

タアンの時だつた。青山の肱をトンと突いた者があつた

見るとアンナだつた

アンナをひいきにしてちよい〜見える支那公使官の丁氏と組置たアンナがもうずつと離れた位んから、例の切れの長い細い眼で青山を、針で刺すやうにチクリと睨んだ

戀する者の敏感さで、蝶子は其に感づくと青山の肩をキリッと指先でつねつた

バドのそばで平泉支配人はそれを見てニャ〜してゐた

今日の夕方、晝の部が終つた時だつた

支配人一人だけしかゐない事務室へ、アンナがひよつこり顏を出した

蝶子がお金の入り事が出來たので五十圓だけ前借したいと云つてゐるといふのだつた

それもアンナが蝶子に賴まれたわけではなかつた。二、三十圓の前借はしたことがあつてせ、五十圓と纏まつた金はまだ借りたことがなかつたので、蝶子はどんなものかと控へ室で二三人集まつたところへ話を持ち出したのだつた

丁度そこにアンナが居合して

『あたしは五十や百のお金はいつだつて前借してたんだから、それならあたしから口ぞへしたげるわ。きつと大丈夫だよ』

と、一人で請合つてくれた

とにかくホールが退けてチケットの計算の時にでも支配人に賴んで見ようと、蝶子はさう思つてゐた

アンナにして見ると、蝶子の話はどうでもよかつた。たゞその話をきつかけに、平泉に研究所の手金のことを促さうとしたのだつた

ところが、平泉は手金の話には乘らないで、それはいづれまた相談しようと、あつさり片付けた

アンナは胸くそが惡かつた。こんな男を賴みにするものか、もう、平泉とは綺麗に手を切つて、研究所だつて自分の手でやらう――しかし、手金の分を前借しようにもアンナにはもうホールから前借する金が殆んどなかつた

一度組まうと云はれてゐたが、今晩はたうとう一度も平泉と踊つてやらなかつた

平泉支配人は、蝶子からの前借の申出を、自分のために最も有效に利用してやらうと、さつきから考へめぐらしてゐた

『あつさり貸してやつて、あとで義理攻めにしようか金は出さずに、あれを交換條件に持出してぢらしてやらうか』

演奏がハタとやんだ。踊りの波がふと停止した

終りだつた

波路といふ賣れないダンサーが蝶子の肩を叩いた。靴屋の定さんがぜひ耳に入れたい話があるから省電の驛で待つてゐるといふ傳言だつた

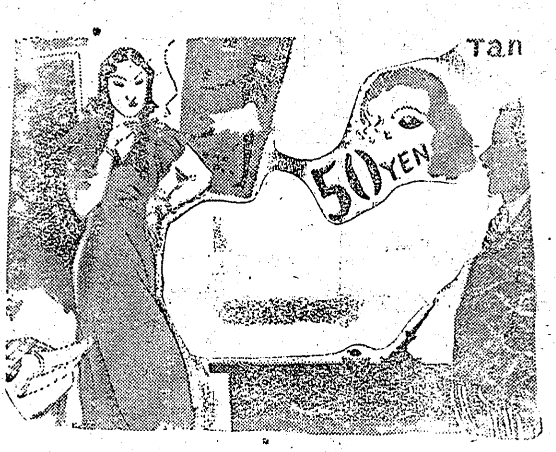
波路はそれを

『靴屋なんかと、このひと』

と蔑んだ眼付で云つた

あの正直で眞面目な靴磨きが云ふのだからきつと大事な事件に違ひない

私は行つて會はうと蝶子はさう思つた



舊月閏新 四辛己五 月赤口月 四除六 日房宿日

▲一白 熱心を認られ意外の援より助けらるべし▲二黑 六分通り成りて後の四分に苦心する事あり▲三碧 行詰らぬ前に八方に目を配りて用心すべし▲四綠 苦は去りて追々と樂に向ひ來る日金談に凶▲五黃 一苦勞ある日小さき事といへども油斷すべからず▲六白 在り來りの業には支障なきも移轉旅行は凶▲七赤 石の上にも三年といふ諺あり辛抱するが吉▲八白 目上と隔意を生じ易き日兇角平和が勝なり▲九紫 何でも持つて來いの吉日名弘め開店何れも吉

五日（小名濱測候所調査）
日出 四、四二 月出前 五、五八
日沒 六、二六 月沒後 九、一〇
滿潮前四、〇〇 後六、三五 干潮前一一、三五 後一一、二五

六日
日出 四、四一 月出前 六、五三
日沒 六、二七 月沒後 一〇、〇四
滿潮前四、四〇 後七、二五 干潮前〇、〇〇 後〇、一五
立夏 後八、〇八

諸判定總書 東京市本鄉區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

舊日曜新 四壬午五 月先勝月 三除五 日心宿日

▲一白 油斷の生じ易き日氣を締めてとかなきを期せ▲二黑 先を見限らず足元に注意しつゝ勵むべし▲三碧 世のくも行に捲き込まれず精々と勵むべき日▲四綠 口舌爭論を持ち込まれ易し取引は尤も注意▲五黃 根氣よく物に倦さればは發達の緣を開くべし▲六白 勞を惜まず苦を厭はず努力すれば効ある日▲七赤 動けば却つて氣運を害ふ騷りも戒しむべし▲八白 業變運を重ぬる日▲九紫 目上の引立は十分あれど依賴心を起す勿れ

廣告
新田町の おでん かん酒 榮ちやんで
（十二、三の小年 至急募集）

株式賣買、債權取立
合資會社 三共商事
平町大町電三六〇

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

前田醫院
院長 前田清美
植田町電話一二四

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前 平屋賣店

流線型入車
御待ち兼ねの卅五年式流線型第一車が入車致しました。是非御試乘をお願ひ致します。
電話六四〇番
尼子タクシー

新車御披露！
時代ノ尖端皆樣ノ昭和タクシー
二又々新車三五年ノ超モダン車拔群ノダッチブラザースガ入リマシタ。
安全、確實、迅速ハ他ノ追從ヲ許シマセン、匆匆シカツタ御花見モ過ギ去リイヨ〜遠出行樂ノ季節トナリマシタ、是非昭和ノ新車デオ出カケ下サイ、如何樣ノ御相談ニモ應ジマス。
團体ニハ地方唯一ノ大型遊覽車御利用願ヒマス。
驛前 昭和タクシー 電話 三四三・三四〇番

內臟外科 外科一般 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齊外科醫院（電話四七五番）

磐城共濟病院（福島縣平町 電話六四一番）
內科 小兒科 院長 醫學博士 石山謙郎 電話六四一番
產婦人科 副院長 醫學博士 五十嵐雄二 電話三七〇番
外科 耳鼻咽喉科 部長 醫學士 大町久藏
皮膚泌尿器科 花柳病科 部長 醫學士 前澤正 電話二七二番
X光線科 醫學博士 石山謙郎
物療科 技手 石山彪
衛生試驗所 獸醫 高後利雄
藥局 藥局長 藥劑師 吉本孝平
事務長 鈴木寶雄
◎毎日午前八時ヨリ（夜間診療開始）毎夜午後十時迄
◎病室完備 入院隨意

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
◎秤ノ取リ・縫・垂ノ修繕致シマス
關內藥局 電話四〇番

開業
骨折 脫臼 打撲 捻挫
ほねつぎ はづれ うちみ くじき 專門
柔道整復師 大河內寅雄
大河內接骨院
平町揚槌小路四 電話五八八番
レントゲン科 整形外科
醫學士 大河內一郎
（入院自炊自由）

小兒科
平町南町五〇番地
志賀醫院
電話一六二番
（入院應需）

自轉車ハ左記有名車ヲ御撰擇下サイ。
◎宮田ノ自轉車 世界的ニ進出セル
◎ゼブラノ自轉車 夙ニ堅牢輕快ノ定評アル
◎マーツ自轉車 實用經濟車トシテ好評アル
◎マーツ號ノ好評ヲネタミ羊頭狗肉ノ策ヲ用ヒ僞物ヲ販賣ナシ商權ヲ侵害ナシツヽアル者アリ法的解決ニヨリ御得意樣ノ御了解ヲ得ン
宮田代理店 ゼブラ代理店 マーツ代理店
エビスヤ商店 電六六四

葉綠素と活氣の氾濫
薫風に躍る選手の群
賑かな此月の地方運動界

新鮮な

綠蔭幽草勝花の時。思ふのに若草は花よりも美しい、鮮かである、紅葉よりも好きだと云ふ人がある。何と云つても生活の喜びを若草に感ずる人は、殊にスポーツマンは、晩春の惱氣から初夏の更生に一と飛びに轉向する此の爽快味に限り無き自由と開放とを感ずる、五月の自然行事は素綠と鮮新な元氣の氾濫である。此の季に於ける地方運動界の動向は明五日の磐中記念運動會を筆頭に、差當り判明してる丈けでも次の如く賑かなものがある

十二日。入山グラウンドに於て競技部記錄會

十六日。湯本町營グラウンドで水鐵對入山野球會

十九日。入山庭球部日立へ遠征

同日。磐炭競技場で磐炭對入山競技

の外日取り決定のものに入山コートで行はるる常磐炭庭球大會、八仙、青葉コートの入山從業員庭球大會等がある

高月に風薫る——運動會と美術展
前後三日の記念行事

既報—磐中の創立四十周年記念祝賀美術展覽會は愈々明五日より三日間同校内に催されるが

第四十四回X會員作品展

第二回白鴉會員作品展、

第十八回美友會員作品展

東京美術校錦巷會參考品展、第十回郡内南双小學校兒童作品展、同校生徒木工作品展

を合同、一丸としたもので教室十三室の外高月寮を解放して會場に當て總出陳點數は數百を算へる有樣で五日催される運動會と共に盛大を豫想されてゐる、尚運動會の繼走と同じく覇を競ふ小學兒童の作品は

平第一、同第二、同第三
飯野、好間尋高、好間尋
草野、大野、四倉、江名
小名濱、双葉廣野

の十三校で、中には同校生徒の作品を凌駕するかの傑作も尠くなく展中特に目を引くものは矢張り之であらう

兒童繼走 組合決定

磐中運動會の呼物小學校繼走出場は昨報の如く十校で豫選の組合せは左の如く決定した

A組＝内郷高坂、草野、好間、平第一、大浦

B組＝内郷内町、神谷、平第三、小名濱、植田

◦◦◦◦◦磐炭運動會繰上◦◦◦◦◦　磐炭健康保險組合運動會は來二十八日の處都合により十九日午前九時からに繰上げられた

赤坂翁慰安 揮毫頒布會
昨日盛會裡に了る

元代議士赤坂龜次郎翁慰安揮毫頒布會は昨三日午後一時より湯本公會堂に於て開催したが加入申込者百九十八口、發起者代表安島元代議士の挨拶についで佐藤代議士、井上縣議より翁の高風を讃美した祝辭あり、最後に翁の赤誠を披歷した謝辭あつて抽籤に移り故犬養首相の遺墨をはじめ翁の爲に揮毫して贈られた當代知名の士の書幅を頒ち四時終了、折詰擧酒の清宴を張り盛況裡に五時散會した

專用線引込 承認決定

けふの土木委員會

内郷村佐藤三平氏の平町城坂踏切(町役場裏)の專用線引込み出願に關しては昨報の如く鐵北居住者が交通の不便と危險を理由に反對陳情迄あつたが今四日開かれた土木委員會により承認に決定した

取消しでは無く 單に年度繰下か
草野村と經濟更生指定

既報草野村の九年度經濟更生村取消決定は現下農村不況の折柄丈けに由々しき問題として關係者から少からずこれが成り行きを注視されてゐるが

同村は九年度に指定されたが種々の關係で計劃書類の作製が遲れてゐた爲過般の委員會終了後係官の來村に際しこれが指令を十年度に延期されるやう承認を受けてゐたもので單に指定年度を繰下げたに過ぎぬでは無いかと觀てゐる向があり、尚郡農會には右に關し昨三日迄何等の通報にも接してゐないと

磐女 修學旅行

磐城高女の修學旅行は既報の如く明後六日より六日間行はれるが行程左の如し

六日—午前五時十五分發東京、市内見學、鎌倉、江の島　七日—京都　八日—桃山、奈良　九日—山田、二見　十日—名古屋、熱海　十一日—熱海發東京、午後二時五十分上野發、七時三十七分平着

初夏は松ケ岡から
公園に明日曜の人出

綠亂たる花の繪卷は一變して生氣躍々たる青葉の丘を現出した昨今の松ケ岡風景だ、これを彩る第一公園の躑躅は弗々目も綾なる色彩の總進軍を開始した、赤は未だ咲き出さぬのが多いが紫、黄白等は早くも三分咲き、來る十日頃の見頃を前に町では目下電飾裝置や植根の修繕等、客寄せ準備に忙しいが明五日の日曜頃からボツ〳〵人の出足をそゝる事だらう

（の躑躅）

去月紹介成績

平職業紹介所に於ける去月中の成績は

	求人	求職	就職
男	六四	八二	四五
女	二五	五〇	五五

依然男は鑛業方面、女は紡績女工が多く斷然男の方を凌駕してゐる、人絹會社の關係で前月に比し求人が六百十一名の減、求職者が四十四名の增、更に前年同期に比しても求人百三名減、求職六十三名の增になつてゐる

十年間に一割三分增
快く伸び育つ石城郡
全縣下の約一割四分を占むる
當局發表の最近人口調べ

本郡の人口はどれだけあるか—縣統計課發表の昨年十月一日現在調査によると縣下總數男女百五十六萬九千四百二十七人の約一割三分九厘に當る二十一萬七千六百三十八人

(男)　一〇九、八九八人

(女)　一〇七、七三二人

斷然郡市中の首位を占め

炭鑛漁村を有する土地柄丈けに男の方が二千百六十六人多く(女百人に付男一〇二、〇一名)本籍人口が昨年に比し三千五百四十七人增の十八萬六千百六十六名である、尚は大正十二年の郡下人口十九萬二千九百三十三人に比べると既往十一年間に二萬四千六百九十七人、之の割合一割一分弱の增加を示しゐる

女青團代表
大會出席者決定

來る十五日午前十時より郡山市公會堂に催される縣聯合女子青年團大會に本郡よりの出席者は左の如くである

郡聯合副團長佐藤一、内郷幹事新家千代、同田口ツヤ、入遠野團長阿部喜久治、同幹事鈴木トヨ、平幹事根本ツナ、同加藤よし子

◦◦◦◦◦鈴木氏表彰内申◦◦◦◦◦　既報—自轉車泥を見破つて逮捕を容易ならしめた平町南町自轉車業鈴木彌太郎(四四)氏の機敏な行爲に就き同署では近く同人を表彰する事になつたと

街に惡の横行
け懶るさを狙ふて
時節柄詐欺や鼠賊出沒

陽氣がポカ〳〵するに從つて綬んで來る人のむをねらつてこれから鼠賊や詐欺の横行する季節です、此の間も平町長橋町の古物商横田太郎事鮮人鄭壽鳳(三三)さんが名も知らぬ鮮人から買つた二十二圓の金側時計が三文の値打もない鍍金物と判り蒼くなつて平署に届け出たので目下同署で取調中だが此種のワナにかゝつた人が相當あるらしくこれらは一見ルンペン風を裝うてマヤカシ物を種にさも旅費に窮したかの如く見せかけて巧妙に賣りつけるものでお互餘程の御用心が肝要ですと同署では語つてゐた

九品寺に農繁托兒所
來月上旬から二週間開放
九十名位を收容豫定

來月上旬頃からの田植農繁季に際し平町九品寺では例年の如く同月上旬約二週間に亘り托兒所を開設附近農家の便宜を圖る事になり近く町當局とも打合せする事になつたが昨年は毎日九十名位を收容してゐたと

清潔法日割

平町の今年度春季清潔法は左の如く來る十一、十二兩日執行する

(十一日)三丁目　新川町　仲間町　堤の内　南白銀町　五丁目　立町　大町　田町　南町東部　鎌田町　月見町　鐵道官舍　北白銀町　大工町

(十二日)長橋町　田町　材木町　久保町　舊城跡　研町　古鍛冶町　一丁目　鍛冶町　胡摩澤　八幡小路　紺屋町　二丁目　南町西部　才槌小路　北目町

箱崎根本兩孃初段免許

磐城高女四年生箱崎綾子、根本シナの兩孃は此程四月五日付で大日本武德會より弓道初段を允許された

不幸者の伜へ 相續廢除請求

双葉郡新山町大字目迫字愛宕下四三農天野幸太郎(五七)は平町武田辯護士を代理人として目下所在不明長男定正(三九)を相手どり平支部に法定の推定家督相續人廢除を請求したが

定正は窃盜五犯で去る四年二月平區で懲役五年を言渡され昨年二月中宮城刑務所を出所實家に戻り附近を流浪して居たが本年に入つてから行衛が知れず家名を汚辱することは限りないとの理由であると

斷然折紙ついた 優良兒廿五名
あす赤ちやん大會授賞式

平町の赤ちやん大會は既報の如く今四日午後一時から藤田女學校で開かれたが參加數は百七十四名の多きに上つた、酒井醫師が委員長となり身體檢査や營養狀態等を調べた上自慢の赤ちやん二十五人に對し明五日午前十時から同校でこれが褒賞授與式を擧行する

◦◦◦平陽生見學◦◦◦　平陽女學校師範科生一同は昨三日午後二時から本田校長に引率され平職業紹介所の智、性能檢査に就き研究する處あつた

投檜
迎歡書投

◦◦◦◦郵便局員に一言◦◦◦◦

◇一昨二日の夜平町の某所から同じ平町の何ヶ所かへ出した書狀が翌日の昨三日朝何れも配達されたに拘らず單り自分の處丈けが屆かなかつた

◇すると三日の午後の便で配られた、それには如何にも明瞭に五月二日後8—12の消印が捺してある、こうなると少く見ても投函より配達迄の所要時間は同町内でありながら實に十四五時間と云ふ事になる

◇澤山な數の中だからと云つて了へば其迄であるが、一から十迄スピードアップの當今、而も珍奇と清新とを生命とする新聞社宛の郵便にそうした手違ひをされては一寸困る場合も出來る事であらう

◇次にも一つ　先達伜の貯金を下戻しに行くと、本人を寄越して貰ひ度いと云ふので、自分が正直正銘の父である事、本人では途中の遺失其他間違ひを生ずべき懸念ある事を理由に機宜の取扱ひを賴んだが容易に承知してはくれなかつた

◇之の論法を極端に擴張すると何等事理の辨別無い赤ん坊の爲親が積んだ貯金の拂戻しにも赤ん坊の首實檢をした上拂戻しの眞意を名儀人の赤ん坊に對して確めねばならぬと云ふ事になりはせぬか

◇前者の配達遲延は取扱者の細心な注意を以て匡正され、後者小兒の貯金拂ひ戻しの場合は係員の自由裁量によつて容易く民衆の便宜を圖る事が出來る筈と思ふ、豈夫れ不可能なりとせんやである　(TK生)

淪落の淵に迷ふ 娘を更生へ
力强い母性愛

秋田縣南秋田郡面方村兒玉光三郎氏長女八重子(一七)さんは數年前無斷家出したので家人が八方搜索中好間村大字上好間カフエー旭屋に女給生活をしてゐる事が判つたので母リサ(四二)さんが最近引取りに來た處前借があるので引取れず一たん歸鄕の上平署宛五十五圓の電報爲替で娘の歸鄕方を依賴して來たが、同署では事情が判らず困つて居た處へ娘が歸らぬので心配したリサさんが昨三日夜遙々平署を訪れ願ひ出た結果それと判り、早速前記旭屋方にかけ合つた處本人は前借八十圓で小名濱町料理業深山田家の酌婦に住込んだとの事に直に同署の手で主人の山野新吉氏を呼び出し前借五十圓に棒引する事に話が纒り母娘は喜びながら歸鄕した

放火犯人 陪審辭退

昨報—双葉郡木戸村大字山田濱字後中大工職松本好次(四五)に係る放火事件は平支部の豫審を終結して福島地方裁判所の陪審裁判に付されたが、昨三日陪審を辭退したので近く平支部法廷に於て公判開かれると

◦◦◦◦特高事務打合◦◦◦◦　平、植田四倉三署特高事務打合會は今四日午前十一時から縣特高課佐久間警部を招き平署に開いた

平窪村便り

◦農家總代人選擧◦　此程執行當選者左の通り

鈴木庄之助　金成清保　鈴木多次郎　薄葉正金　繩田長一郎　上妻實次郎　相田初吉　松本源吉　長瀨三喜郎　鈴木美雄　高田瀰惣治　小野常作　大山新次郎　小野長一　吉田庄一　櫻井政光

早起會勵行　九年度指定經濟更生村として各部落青年が發起となり毎日午前四時を期して振鈴の當番が村内を一巡し村民達の早起きを奬勵してゐる

◦共同搾油計劃◦　菜種の加工販賣並に食用油自給の方法として菜種共同搾油設備を新設すべく目下計劃中

◦養蠶講話會◦　六日午後一時から小學校に開く、講師は加藤技手

◦更生委員會◦　六日午前九時から產業組合樓上で

◦勳記章傳達◦　滿洲事變に活躍した左記諸氏に夫々頭書の賞賜があつた

勳八旭日章外賜金二百四十五圓從軍記章—陸軍歩兵上等兵地引占義、從軍記章—海軍一等水兵矢内竹夫、滿洲國建國功勞章—陸軍歩兵一等兵田久貞光、一等兵矢吹一夫、上等兵草野清一、一等兵故丹野甚平、上等兵故永井良一

◦歸らぬ伜へ◦說諭願◦　相馬郡中村町大字原釜機長男唯野好(三三)は去る三月中無斷家出し其後江名町中の作吉田負八方に住込んでゐるが何か事情があるらしく最近實母の死亡にも再三歸宅方を促すも更に歸らぬので今四日實父から平署に同人の說諭方を願ひ出た

磐新誤叱府

光頭のヴァテラン篠山平第一校長、傍の菅波首席訓導を顧みては『君も大分薄くなつたなア!』と自分の今日に至れるプロセスに感慨無量の態であるが、その方—菅波訓導が先頭の『化に躍る平』中に出て來る自分を凝視して『校長よりも僕の方が光つてゐる』ウームとばかり之は感極まつた樣な拱手長歎

廣告

川井內科診療所　平南町　電二四三

松村醫院　院長 松村鐵郎　平町南町電一〇七

木村病院　平町新川町　電話一六四番

大和田醫院　平町南町　電話一七〇番

吉田眼科病院

眞の流線美
グロ化を排してクローム直線の交又も美しき
35年型拔群の
陸の王者
流線ダツチ
入荷
彩りも花と艶を競ふ……銀ネヅミ
御試乘下さい
素晴らしい乘心地を!
東京鐵道局公認
不二タクシー
電話三二番

外科專門
X光線科
上田醫院
平南町
入院隨意(自炊の便あり)
病室完備
(電話一二九)

勉强店(安クテ良イ)
建築美品…床柱、天井板、ベニア板
內外銘木
建築材一式
便利瓦
平町紺屋町一
織田材木商店
各種建築木材ノ御引合セヲ承リマス。
電話(平)四六〇番

御會葬御禮
昭和十年五月四日
男 中村稔
女 中村俊子
親戚一同